高次脳機能障害講演会

「当事者が伝えたいこと」

~自立を考える~



高次脳機能障害の当事者が自立して生活するためには、どのような支援が必要でしょうか。

この講演会では、当事者が住み慣れた町で暮らすために、一人ひとりに合った「就労」や「在宅」あるいは「グループホーム」での自立ある暮らしを考えていきます。

2015年

とき 3月14日(土) 午後1時~4時

ところ アミュゼ柏・クリスタルホール 千葉県柏市柏6丁目2番22号





●JR・東武線「柏駅」東口より徒歩7分。来場はなるべく 公共交通機関をご利用ください。車でお越しの場合は近 隣の有料駐車場をご利用願います。

定員

400人

参加費

1,000円(当日会場で)



- 主催 東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
- 後援 NPO法人日本脳外傷友の会

当事者が伝えたいこと

PROGRAM PROFILE

わたぬき よしのり

綿貫 吉典さん -

13:00 | ●講演『当事者との接し方』 | ・橋本 圭司さん

13:45 | 14:25

●対談『ユニバーサル就労の立場から』 ・綿貫 吉典さん & 橋本 圭司さん

休憩

14:40 | 16:00 ●シンポジウム『当事者の自立を考える』

コーディネーター/・大塚 恵美子さん シンポ°ジスト/・橋 縁さん ・谷田部 明さん

・内木 泰広さん

はしもと けいじ **橋本 圭司さん** -

●独立行政法人国立成育医療研究センター・リハビリテーション科医長/発達評価センター長

東京慈恵会医科大学医学部卒業。医学博士。神奈川 県総合リハビリテーションセンターなどで、数多くの 高次脳機能障害の人の治療を経験。

申込方法

参加希望のすべての方の①お名前(ふりがな)②〒・住 所③TEL・FAX④職業を明記の上、下記までFAXかはが き、メールのいずれかでお申し込みください。ホームペー ジからも申し込みができます。

申し込み受け付け後、2月より聴講券をお送りします。 参加費(1,000円)は、当日会場でお支払いください。

■申込先/お問い合わせは 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞厚生文化事業団「高次脳」係 Tel.03-5540-7446 Fax.03-5565-1643 E-mail: kojinou@asahi-welfare.or.jp http://www.asahi-welfare.or.jp

●高次脳機能障害当事者

2001年交通事故で高次脳機能障害になり、記憶障害と身体障害(体幹機能障害)の後遺症が残る。07年から橋本圭司さんのオレンジクラブで1年半リハビリを受ける。10年から就労移行支援を受け、12年から高齢者施設にユニバーサル就労で勤務。

おおつか えみこ

- 大塚 恵美子さん ―

●千葉県千葉リハビリテーションセンター・高次脳機能 障害支援センター長

1981年同センター開設以来、心理士として障害のある子どもにかかわる。高次脳機能障害支援モデル事業開始直前の2000年から、成人部門を担当。14年度から高次脳機能障害支援センターに移り、高次脳機能障害のある人の就労支援や地域生活支援にかかわっている。

^{はし ゆかり} **橋 縁さん**

●医療法人社団弥生会 旭神経内科リハビリテーション 病院・医療相談員/高次脳機能障害支援コーディネーター

2007年より同院に医療相談員として勤務。09年より高次 脳機能障害支援コーディネーターに従事し、高次脳機能障 害のある人たちが「地域でくらす」ことを応援するととも に、家族の支援に取り組んでいる。

> ^{やたべ あきら} **谷田部 明さ**ん

●高次脳機能障害当事者

2008年に脳出血を発症。後遺症として身体の左片マヒと高次脳機能障害(注意障害)が残る。現在はヘルパーを利用し松戸市で一人暮らし。ハローワークに通いながら、一般事務職で就活中。

ないき やすひろ **内木 泰広**さん ——

●高次脳機能障害当事者

2005年24歳の時、**自転車**同士の衝突事故で脳外傷を 負い、後遺症として右上下肢マヒと高次脳機能障害が 残る。グループホームに暮らし、日中は畑仕事に従事。 母親とピアノデュオを結成し、高次脳機能障害の啓発 活動を行っている。